

**戸開走行保護装置**  
**定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準**  
 大臣認定番号 **ENNNUN-1008**      **UCMP形式 DBGC-1**

発行：平成30年6月25日 Ver.2

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	戸開走行保護回路	取付けの状況	触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		走行中戸開時の動作有無	エレベーターがドアゾーン外にいる時に、乗場戸の錠を外す。	電動機動力電源およびブレーキの励磁コイル電源を遮断するリレー (S1,S3,BY) が消磁しないこと。エレベーターが停止しないこと。
		安全制御プログラムバージョン	プリント基板「GECB」の型番を確認する。	下記型番と同一でないこと。 <b>JAA31477AAA</b>
(2)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	<b>725 mm</b> 未満で有ること。
(3)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		動作位置	各階に走行させ、着床させる。	正常に着床しないこと。
(4)	部品	規定部品の型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。
		規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 S1,S3: 1000 万回到達時/15 年経過時 BY: 1000 万回到達時/10 年経過時
(5)	ブレーキ	パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること又は剥離していること。
		制動力の状況	かごの無積載上昇時のブレーキ制動を確認する。	ブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離以内で停止しないこと。
		ブレーキ動作感知装置	目視により動作信号を確認する。	ブレーキ開及び閉時の動作信号が異なる信号であること。
上記(1)～(5)の検査結果で「否」又は別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				